



▲仲良くバケツで灯笼をつくる参加者

今回で8回目となる美山かやぶきの里雪灯廊が開催。最終日の2月4日の灯笼づくりには、降り積もったたくさんの雪を使い、作品づくりに熱中する参加者でにぎわいました。中には、外国からの参加者もあり、会場にはそれぞれの個性を生かした作品が並びました。訪れた人々は、オリジナル灯笼と灯りのともった雪化粧のかやぶきの里が作り出す幻想的な冬景色を堪能されました。初日と最終日には、花火が打ち上げられ、屋台で販売される豚汁やおでんなどで体を暖めながら観賞する姿が会場のあちらこちらで見られました。

（1/28～2/4 第8回美山かやぶきの里雪灯廊）

「広がる銀世界の中、灯笼作りに熱中」

「世界を見る目育てるきっかけに」

サイパン島から生徒3人とフーレス市長ら計7人が南丹市を訪問されました。2月7日には、市内の中学生32人などで歓迎会を開催しました。歓迎会では、市内中学生が各学校ごとに英語で自分たちの学校の紹介を兼ねた歓迎スピーチを述べ、プレゼント交換をした後、茶道、書道、折り紙などで日本文化を紹介。交流会を通して親交が深まり、笑顔が溢れる国際交流の場となりました。



▲訪日団と交流する市内中学生

（2/7 サイパン島青少年訪日団歓迎会）

「冬空力走・なべで心身あたたため」



▲スタートの合図と同時に勢よく走り出す参加者

南丹市八木運動公園をスタート・ゴールとする「大堰川ジョギング大会」が今年も開かれ、5km、2.3kmのロードレースの部、公園内を周回する1.5kmのファミリージョギングの部に合計224人が参加し力走。厳しい冬の天候の中、顔中に汗を浮かべてゴールする参加者の姿が印象的で、「この大会に向けて毎日走ってきた。自分のベストな走りができた」と語る参加者もおられました。レース後は、みず菜や山の芋などの地元野菜を使った「大堰川なべ」を食べ、心と体を暖めました。

（1/29 大堰川ジョギング大会）

「チーム一丸となって勝利へシユート」

スプリングスカップ・ミニバスケットボール大会がスプリングスひよし体育館で開催されました。例年は、6年生最後の公式戦として3月に開催されますが、今年は会場の都合で12月の開催となりました。大会には、地元南丹市のチームと、招待チームを加えた、男女18チームが参加。初日は、3ブロックに別れ予選を行い、2日目は順位決定戦を行いました。白熱した戦いの結果、男子の部は園部ミニバスケットボールクラブが優勝、また女子の部は日吉スポーツ少年団・ラビットが3位の栄冠に輝きました。



▲ディフェンスをかわしシュートをする選手

（12/10・11 第11回スプリングスカップ・ミニバスケットボール大会）